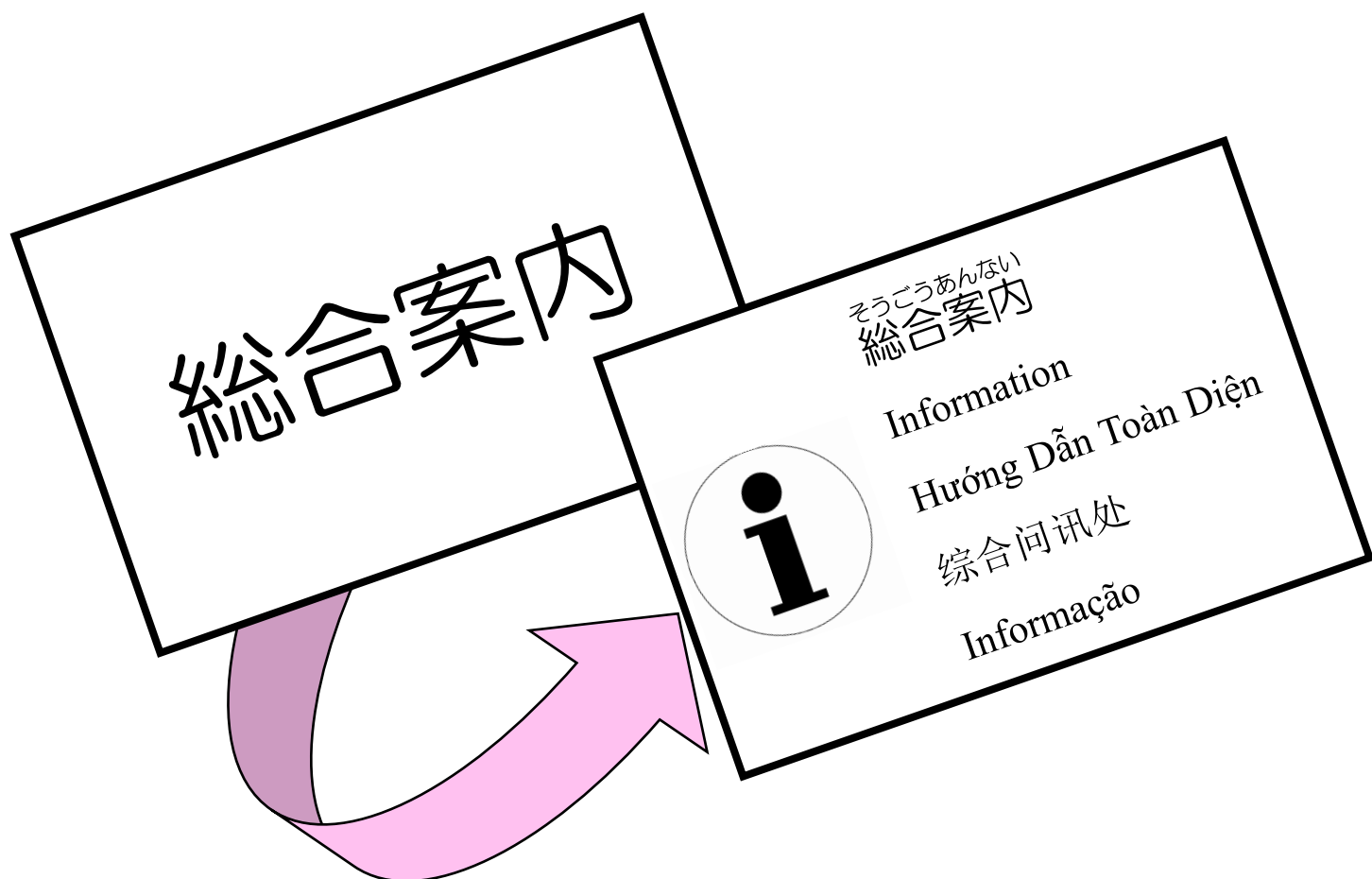


施設管理者のための 多言語表示ヒント集

その情報、日本語だけで大丈夫？



2026年（令和8年）3月作成

福山市市民局まちづくり推進部多様性社会推進課

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

電話 084-928-1002 メール kokusai@city.fukuyama.hiroshima.jp

このヒント集の目的

このヒント集は、施設などの案内表示に多言語対応を取り入れることで、外国人市民にも必要な情報が適切に伝わる環境を整え、多文化共生のまちづくりを推進することを目的として作成しました。

福山市では、外国人市民の数が年々増加しています。観光客とは異なり、外国人市民は市役所や図書館、交流館、銀行など、地域の身近な施設を日常的に利用しています。今後は、こうした施設においても多言語対応の必要性がさらに高まると考えられます。

また、案内表示などの多言語化により、外国人市民との誤解やトラブルの防止につながり、日本人利用者への対応にも支障が生じにくくなります。さらに、多言語表示にやさしい日本語やピクトグラムを取り入れることで、外国人市民に限らず、子どもや高齢者など、より多くの市民にとって理解しやすいものとなります。このように、多言語対応は施設管理者にとっても大きなメリットがあります。

このヒント集を参考に、施設管理者の皆様にも、多言語表示を検討していただけると幸いです。



10 人や国の不平等をなくそう



想定している施設	
公共施設	市役所、警察署、税務署、図書館、交流館、公園、避難場所・避難所、学校・保育所など
商業施設	スーパーマーケット、デパート、ショッピングモール、コンビニエンスストア、飲食店、銀行・金融機関など
その他の施設	公共交通機関、医療機関など

国の「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」をもとに、福山市は2022年に「福山市におけるインバウンドに対応したサインの多言語化等ガイドライン」を策定しました。このガイドラインは、福山市を訪れる外国人観光客等のために観光地や公共交通機関などの表示を分かりやすくする目的で作成されました。観光客が多く利用する施設管理者は、福山市の「福山市におけるインバウンドに対応したサインの多言語化等ガイドライン」を参考にしてください。

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kanko/274503.html>



多言語化の手順

ページ

4

①外国人市民・施設などの外国人利用者の特徴を確認
福山市にはどのような外国人市民が暮らしているか、把握しましょう。



4

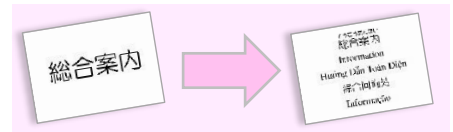
②現状の確認・多言語化する情報を選択
現在どのような案内表示になっているか、確認します。
優先順位の高い単語から多言語化します。



6

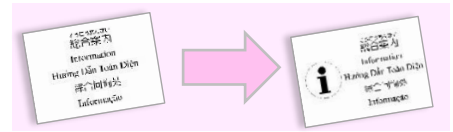
13

③どの言語に多言語化するかを選択・翻訳を作成
施設のニーズ、案内表示のスペースなどに合わせて、多言語化していきます。必要であれば、翻訳を依頼します。
「やさしい日本語」の利用も検討します。



6

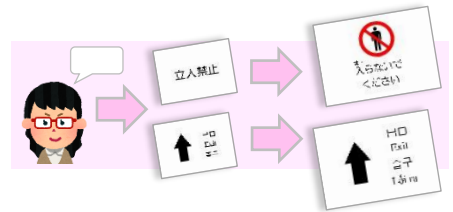
④ピクトグラムの利用を検討
ピクトグラムで伝えられる情報があれば、ピクトグラムを使います。



7

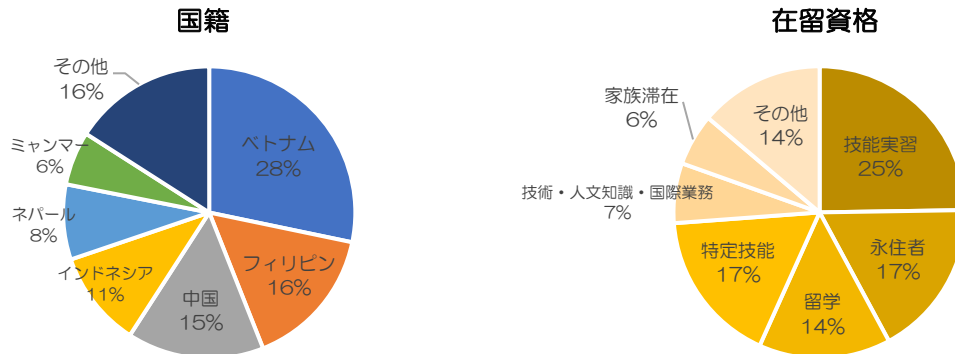
10

⑤多言語表示を充実させる
施設のニーズに合わせて、多言語表示を増やしていきます。他の施設の多言語表示を参考にしたり、施設を利用する外国人の意見を聞いたりして、より伝わりやすい多言語表示にしましょう。



①外国人市民・施設などの外国人利用者の特徴を確認

2026年2月末現在、福山市には、60か国以上12,937人の外国人市民が住んでいます。その特徴として、技能実習及び留学はベトナムをはじめとする東南アジア出身の人が多く、出身国は年々多国籍化しています。一方で、永住者は中国、フィリピン、ブラジル出身の人が多い傾向にあります。



施設によって、利用する外国人市民の国籍や滞在状況はさまざまです。例えば、スーパーマーケットやコンビニエンスストアは短期・長期の滞在に関係なく、幅広く利用されています。一方で、学校や保育所は留学生より永住者の利用が多い傾向にあります。永住者は、短期滞在の外国人市民と比べて、ある程度日本語を理解できる場合が多いため、やさしい日本語やピクトグラムを取り入れた表示でも十分に伝わる場合があります。このように、施設ごとの利用者の実態をふまえて、多言語対応を進めていくことが重要です。

最新の外国人人口の状況は、福山市のホームページで確認できます。

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/johokanri/24115.html>



②現状の確認・多言語化する情報を選択

外国人市民が利用する際、どのような情報が必要かを考えてみましょう。まずは、現在の案内表示を確認し、多言語表示が必要なものを探しておきましょう。多くの施設では、表示すべき情報は次の2種類に該当するでしょう。これを参考に、優先度の高いものから多言語化していきましょう。

・禁止・注意を促す

立入禁止、禁煙、飲食禁止など、禁止や注意を促す情報や非常時に提供する情報



・名称・案内・誘導・位置を示す

駅名、施設名称、施設内の方角案内など、名称・案内・誘導・位置の情報



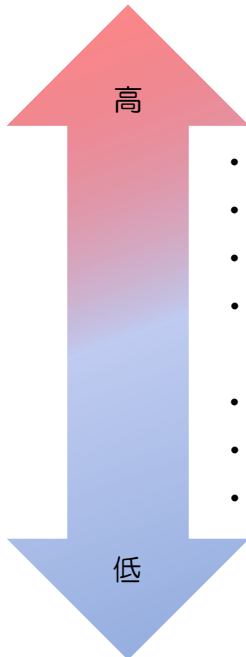
観光庁『観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン』より

多言語化の優先順位に迷う場合は、緊急性や重要性が高いものからスタートしましょう。ここでは、公園を例に考えてみます。

※同じ種類の施設であっても、求められる緊急性・重要性は異なる場合があります。管理している施設の利用状況やニーズに応じて、優先順位を検討しましょう。

【例：公園の場合】

緊急性・重要性



命の危険があるものや、利用者に不便をかける場合は、優先順位が高くなります。

- ばら花壇薬剤散布のため、●日の散歩等をご遠慮ください。
- 点検のため、遊具は使用禁止です。
- このベンチはペンキ塗りたてです。座らないでください。
- ●日から●日まで、工事のため公園を利用できません。
- 公園内のごみ箱は、家庭ごみの持ち込みを禁じています。
- 忘れ物がないよう、お気をつけてください。
- トイレをきれいに使いましょう。



情報選択する際のヒント

多言語化する情報を選ぶときに、次のポイントも注意しましょう。また、「⑥多言語表示を充実させる」(7ページ)の例を見て、多言語化するときの情報選択に気を付けましょう。

- **明確さ、わかりやすさ**
何を注意しないといけないのか、わかりやすいか？
ピクトグラムでさらにわかりやすくできないか？(6ページを参考にしてください。)
- **量**
情報量が多すぎて読みにくくなっていないか？
- **正確さ、信頼さ**
情報は古くないか？
どこからの情報かわかるか？
- **読みやすさ、デザイン**
字の大きさや色は読みやすいか？



③どの言語に多言語化するかを選択・翻訳を作成

- 施設の利用者に合わせて言語を選択しましょう。

福山市内では、出身国の多いベトナム語、中国語（簡体字）、インドネシア語などの中から、利用者に合わせて選択すると良いでしょう。

- 英語の利用で、多くの人に対応しましょう。

世界中で広く使われている英語を表示することで、より多くの外国人市民に対応することができます。

- 表示のスペースに応じて言語数を決めましょう。

一つの言語が併記可能なら、日本語に加えて英語を併記、二つ併記可能なら施設利用者の多数が使う言語を一つ加えると良いでしょう。

- やさしい日本語の利用を検討しましょう。

出入国在留管理庁や福山市では、「やさしい日本語」の使用を推進しています。「やさしい日本語」の使用だけでも、理解度がより高くなります。（13ページを参考にしてください。）



翻訳する際のヒント

- 自動翻訳を使用する場合は、翻訳した言語から再度日本語へ翻訳したり、ネイティブスピーカーに確認してもらうなど、内容のチェックを行うと安心です。
- 自動翻訳は必ずしも正確とは限りません。利用する際にはその点に注意し、自動翻訳であることを明記することで、誤解を防ぐことができます。
- 長文の多言語化が必要な場合は、翻訳業者への依頼を検討しましょう。費用がかかるため、ネイティブスピーカーによるチェックが含まれているかどうかなど、内容や品質を十分に確認したうえで依頼することが大切です。

④ピクトグラムの利用を検討

- 多言語化と合わせて、ピクトグラム（案内用図記号）を使うことで、言葉がわからなくても情報を伝えやすくなります。

- JIS（日本産業規格）化されたピクトグラムを使用すると良いでしょう。主なピクトグラムについては、11ページの「★多言語化する際のリソース」をご覧ください。



ピクトグラムだけでは、表示している内容がうまく伝わらないこともあります。なるべく多言語表示と併記するようにしましょう。

⑤多言語表示を充実させる

施設のニーズに合わせて、多言語表示を更に増やしていきます。どのように多言語化したら良いか、何を注意したら良いかを次の例・エピソードで考えてみましょう。

例① 案内表示の多言語化・ピクトグラムの利用



日本語だけの「総合案内」から多言語化することで、より多くの人に伝わります。また、ピクトグラムの利用で、外国人だけではなく、日本人にも伝わりやすくなります。

例② 禁止事項をより分かりやすくする



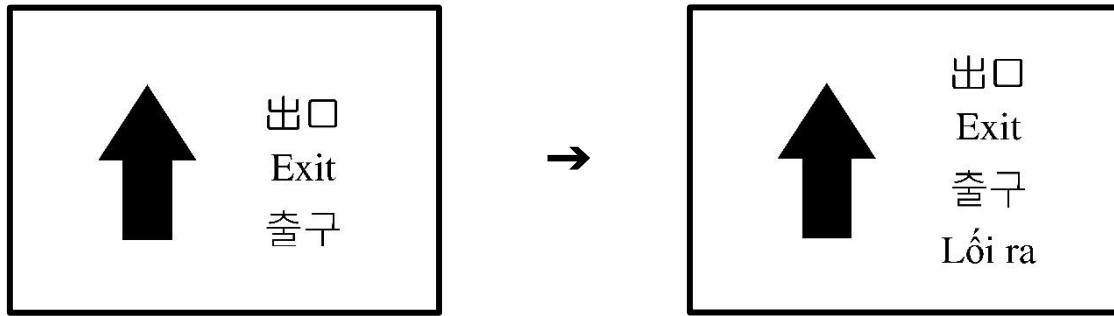
禁止事項を表示する際は、どうしたら良いかまで書くことで、正しい行動が取りやすくなります。

例③ 多言語は日本語と併記する



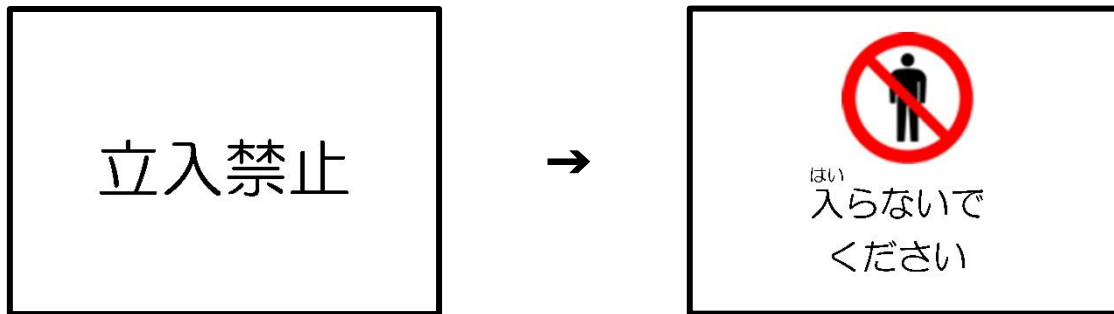
禁止事項を日本語以外の言語だけで表示すると、その言語を使う人だけに禁止を促しているように見え、悪い印象を与える可能性があります。禁止事項は日本人にも外国人にも同じようにし、日本語を併記しましょう。

例④ 施設のニーズに合わせて、多言語化する



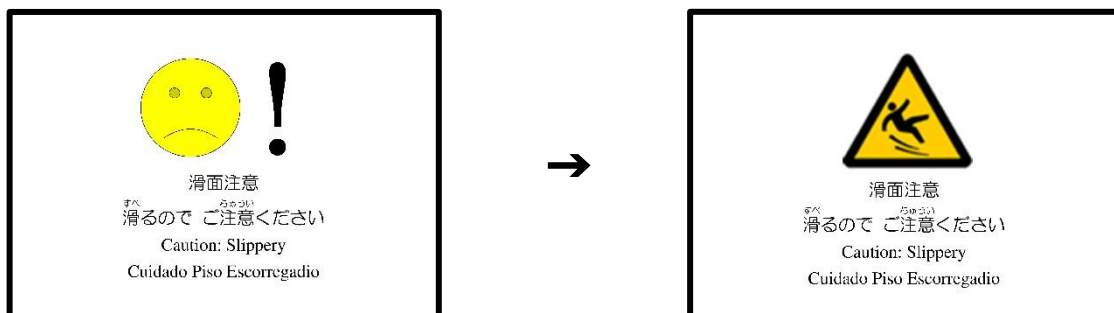
施設の利用者を把握した上で、多言語化しましょう。ベトナム人の利用が多い施設であれば、ベトナム語を追加しましょう。

例⑤ スペースに合わせて、案内表示を作成する



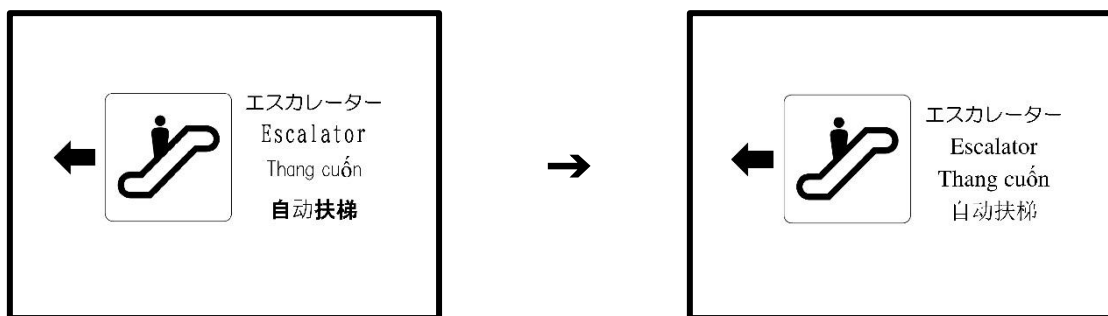
案内表示のスペースが限られる場合は、ピクトグラムや「やさしい日本語」のみの表示でも外国人の利用者に役に立つ場合もあります。

例⑥ ピクトグラムの使用に注意する



できるだけ JIS（日本産業規格）化されているピクトグラムを使うようにしましょう。独自のピクトグラムを作る場合は、外国人に正しく理解されるものを作るように心がけてください。

例⑦ フォント（書体）に気を付ける

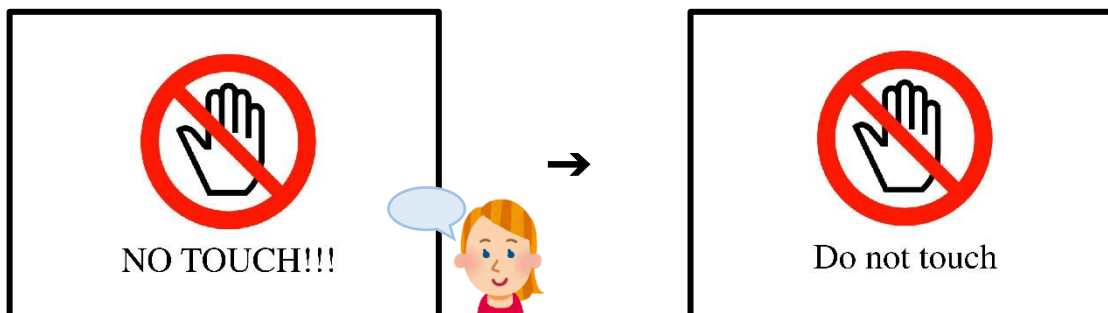


外国人にとって、慣れていないフォント（書体）で母語を読むと、違和感があったり、怪しく思ったりすることもあるので気を付けましょう。多言語表示によって、最適なフォントは変わりますが、迷っているときは次の中から選ぶと良いでしょう。

英語、ベトナム語、ポルトガル語など（アルファベットを使う言語）：Times New Roman、Arial など
中国語：SimSun など

韓国語：Malgun Gothic など

例⑧ 外国人市民からの意見を導入する



「絵があればわかりやすいのに」、「こう書けば〇〇人にとってわかりやすいよ」、「もっと良い言い方があるよ」などの意見があれば、導入するとより充実した多言語表示ができるかもしれません。次のページの「多言語のエピソード」もぜひ参考にしてください。

このヒント集では、誰でもすぐ作れるものを紹介していますが、看板などの発注を検討している施設管理者は「福山市におけるインバウンドに対応したサインの多言語化等ガイドライン」を参考にしてください。色彩、書体、ピクトグラムと文字サイズの基礎デザイン情報などが載っていますので、ぜひ参考にしてください。



<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kanko/274503.html>

多言語のエピソード

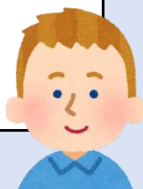
外国人市民は、多言語表示についてどう思っているのでしょうか。次のエピソードを参考にし、外国人市民の利用がある施設の場合は、直接利用者の意見を聞くと良いでしょう。

「交流館」が家の近くにありますが、何の施設か知りませんでした。無料で誰でも使える施設だと聞きビックリしました。便利な場所ですし、楽しそうな事業をたくさんしているので、多言語表示をすることで、外国人も気軽に使えると思います。

福山市在住：
5年以上 中国出身



福山市在住：
5年以下 イギリス出身



私にとって、母語が表示してある看板はより目立ちますので、みんなに守ってほしいことを多言語で書いた方が効果的だと思います。日本語しかない看板だと、読んで内容がわかるには時間がかかりますし、読む余裕がないこともあります。

外国人がよく利用するスーパーやコンビニなどの掲示物は多言語で表示されると良いです。使ってはいけないもの、使って良いものは、しっかり明記した方が良いですね。書いてないと勝手に判断してしまうこともあります。

福山市在住：
5年以上 ベトナム出身



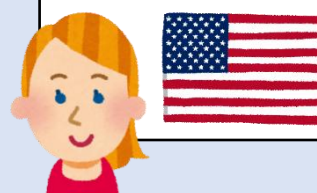
福山市在住：
5年以上 ペルー出身



日本に長く住んでいる外国人はある程度の日本語ができることが多いと思います。でも、とても大事な情報はスペイン語などの多言語表示があった方が助かります。例えば、「立入禁止」、「通話禁止」、「ご自由にお取りください」などの案内表示ですね。

日本語ができて、多言語で表示しているお店は、多言語表示がないお店より入りやすいと思います。ただ、多言語表示が間違っているお店をときどき見かけます。誤解を避けるため、自動翻訳だけに頼らずに、ネイティブスピーカーによるチェックがおすすめです。

福山市在住：
5年以上 アメリカ出身



★多言語化する際のリソース

多言語化に関するウェブサイトがたくさんあります。特に役に立つ情報がたくさんあるウェブサイトを紹介します。

岐阜市 『そのまま使える多言語表記サンプル 100』



<https://www.city.gifu.lg.jp/kankoubunka/tabunka/1005427/1005445/1005447.html>

「靴を脱いでください」、「ごみはお持ち帰りください」など、よくある案内表示の多言語サンプルがあります。すぐに使えるサンプルが100種類もありますので、ぜひ参考にしてください。



東京都 『多言語メニュー作成支援ウェブサイト』



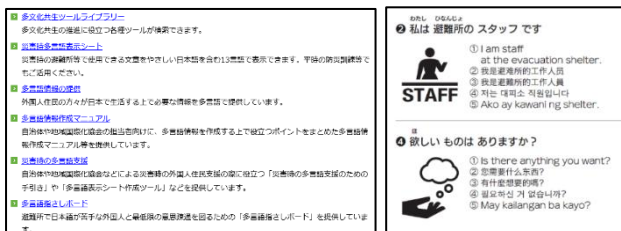
<https://www.menu-tokyo.jp/menu/>

多言語のメニュー作成に関する情報のウェブサイトです。

※メニュー作成の支援は東京に店舗があるお店に限られていますが、メニューの例やアレルギーのピクトグラム、外国人のおもてなしポイントは福山市内のお店でも役に立ちます。



一般財団法人自治体国際化協会 「多文化共生ツールライブラリー」「多言語情報作成マニュアル」「災害時多言語表示シート」「災害時用ピクトグラム」「多言語 標準訳語集」など



<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/>

災害時に関する多言語表示、避難所などで使える「多言語指さしボード」など、多言語化に関する様々な参考資料があります。



国土交通省 「案内用図記号 (JIS Z8210)」



https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000145.html

JIS（日本産業規格）化されているピクトグラムをカテゴリ別で載せているウェブサイトです。



公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団「標準案内用図記号」

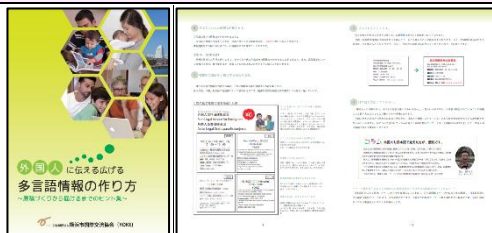


https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/pictogram/picto_top2025.html

国土交通省のウェブサイトと同じく、ピクトグラムを多く載せていますが、JIS（日本産業規格）化以外のピクトグラムもあります。



公益財団法人 横浜市国際交流協会 『外国人に伝える広げる多言語情報の作り方 ～原稿づくりから届けるまでのヒント集～』



https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tool_library/tools/116560.html

「編集方針を考える」、「レイアウトとデザイン」、「原稿の書き方」など、多言語化する際の流れがわかりやすく書かれているヒント集です。上記のページの「ツールを見る」をクリックするとダウンロードできます。

※上記のページからダウンロードできますが、作成団体の詳細については次のページをご覧ください。

<https://www.yokeweb.com/>

※上記の「多文化共生ツールライブラリー」には、他にも様々な役に立つリソースがあります。

https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tool_library/index.html



★やさしい日本語のリソース

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単な表現を使う、外国人にもわかりやすい日本語のことです。外国人以外にも、こどもや高齢者など誰にでもわかりやすいため、幅広く使われています。福山市に住む外国人市民を言語別に見ると、30種類以上にもなります。情報をこれら全ての言語に多言語化する事は、現実的ではありません。そこで、優先言語とともに多くの外国人が共通して理解できる日本語として「やさしい日本語」を使ってみてください。

特に役に立つ情報がたくさんあるウェブサイトを紹介します。

出入国在留管理庁 『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』



ステップ 1 日本人にわかりやすい文章

日本人が読んでわかりやすい文章にするために、簡潔な文章にすることがポイントです。

- ◆ 情報を整理する
- ◆ 文をわかりやすくする(1)
- ◆ 外来語に気を付ける

詳細は7~8ページへ

https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html

出入国在留管理庁が作ったやさしい日本語のガイドラインです。やさしい日本語の書き換え例や書き換えのツールの説明もあります。



愛知県 『「やさしい日本語」の手引き』



1-1. 次の言葉を「やさしい日本語」にしてください。【漢語→和語】

例 出身	→ (国)
① 和室	→ (たたみの部屋)
② 両親	→ (お父さんとお母さん)
③ 飲酒	→ (お酒を飲む)
④ 欠席	→ (休む)
⑤ 危険	→ (危ない)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/0000059054.html>

やさしい日本語の基礎を学ぶことができる手引きです。用語集・例文集もあります。



東京都 『「やさしい日本語」について』



<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/multilingual/references/easyjpn.html>

やさしい日本語の説明、資料、記事などのリンクが並んでいるページです。

